

## 平成19年度第1回機械振興補助事業審査・評価委員会 議事要旨

1. 開催日時 平成19年4月17日(火) 午前10時~12時
2. 開催場所 日本自転車振興会 7A会議室
3. 出席者 [委員] 大山委員長、岡委員、野坂委員、山田委員、  
山本委員、渡辺委員  
[本会] 服部理事、平柳機械工業振興部長、  
松下振興事業課長、三浦振興調査課長
4. 議題 (1) 平成17年度補助事業プレゼンテーション  
(財)光産業技術振興協会  
(社)日本航空宇宙工業会  
(2) 平成17年度補助事業の事後評価について  
(3) 平成16年度補助事業の追跡評価について  
(4) その他
5. 議事概要
  - 平成17年度振興補助事業のプレゼンテーション終了後、平成17年度補助事業の事後評価、平成16年度補助事業の追跡評価について事務局から説明を行った。
  - 事務局から説明した内容について各委員から意見を聴取した。主な意見は以下のとおり。
    - ・ 2つのプレゼンテーションについては、具体的で大変理解しやすい。事後評価については、評価方法及び報告方法について、次回以降、もう少し改善できるように検討して欲しい。
    - ・ 日本自転車振興会としても、評価の高い補助事業をピックアップして、表彰したり、公表したりしてはどうか。
  - 以上の意見を踏まえ、17年度の補助事業については、総合的に見て的確かつ効果的に実施されたということでは了承された。なお、評価及び報告方法等の改善策については、今後事務局で検討することとなった。

なお、本議事要旨は事務局の文責にて作成した。

## 平成17年度機械工業振興補助事業「事後評価結果」について

1. 日本自転車振興会では、補助金を交付する個々の補助事業の事前評価で設定した目的・目標、目標達成指標などを事後評価するとともに、その結果をもとに補助事業全体の実施効果及び効率性を評価しています。

事前評価と事後評価は、補助事業者が自己評価し、その結果を取りまとめた資料をもとに日本自転車振興会の補助事業審査・評価委員会で総合的な評価を行います。

なお、補助事業者の自己評価に際しては、外部有識者で組織された評価委員会等を設置して客観的に行われることが望ましいという見地から、自己評価の体制についても報告を求めています。

○事前評価 → 補助事業者は、事業実施前に事業の目的、必要性、内容、目標、実施体制、成果の公表などを明らかにします。

○事後評価 → 補助事業者は、事業完了後に「目標達成度」、「効果」、「効率性」、「実施体制」、「成果の広報」、「総合自己評価」の6項目について5段階で評価します。

例えば、目標達成度については

5:当初設定した目標を大幅に上回るとともに、良好な派生的効果があった。

4:当初設定した目標を上回った。

3:当初設定した目標を概ね達成できた。

2:当初設定した目標を下回った。

1:当初設定した数値目標をほとんど達成できなかった。

2. 今般、平成17年度機械工業振興補助事業について、補助事業審査・評価委員会に諮り、全体として適正に実施されているとの評価を受けましたので、事後評価を評価項目別及び事業形態分類別に取りまとめた結果を公表します。

### 事業分野における各評価項目の評価点件数と平均点

補助方針	事業数	事業項目数	目標達成度					効果					効率性					実施体制					成果の広報					総合自己評価					
			5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
1 機械工業における構造改革の推進のための事業環境の整備	70	205	56	92	56	1	0	39	115	50	1	0	62	83	57	3	0	56	95	54	0	0	42	90	72	0	1	43	108	53	1	0	
	平均点		3.99					3.94					4.00					4.01					3.84					3.94					
2 地域の機械工業と中小機械工業の事業展開の促進	51	104	17	48	39	0	0	21	57	26	0	0	11	55	38	0	0	17	60	27	0	0	12	35	56	1	0	15	63	26	0	0	
	平均点		3.79					3.95					3.74					3.90					3.56					3.89					
3 機械工業における循環型経済社会の構築に向けた取組みの促進	10	42	15	19	8	0	0	15	19	8	0	0	18	14	9	1	0	26	8	8	0	0	8	20	14	0	0	10	24	8	0	0	
	平均点		4.17					4.17					4.17					4.43					3.86					4.05					
4 機械工業における国際交流の推進	26	77	21	34	21	1	0	17	43	15	2	0	19	34	24	0	0	22	34	19	2	0	14	36	26	1	0	16	48	11	2	0	
	平均点		3.97					3.97					3.94					3.99					3.82					4.01					
5 特別事業(2005年日本国際博覧会に関する基盤整備等事業)	1	3	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	
	平均点		5.00					5.00					5.00					5.00					5.00					5.00					
合計		158	431	112	193	124	2	0	95	234	99	3	0	113	186	128	4	0	124	197	108	2	0	79	181	168	2	1	87	243	98	3	0
平均点		3.96					3.98					3.95					4.03					3.78					3.96						

### 事業形態における各評価項目の評価点件数と平均点

事業形態		事業項目数	目標達成度					効果					効率性					実施体制					成果の広報					総合自己評価				
			5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
A	調査研究・動向調査	155	33	74	47	1	0	27	86	41	1	0	37	65	51	2	0	39	72	44	0	0	25	68	61	0	1	21	93	40	1	0
	平均点		<b>3.90</b>					<b>3.90</b>					<b>3.88</b>					<b>4.02</b>					<b>3.75</b>					<b>3.86</b>				
B	開発研究・試験研究	54	22	26	6	0	0	18	31	5	0	0	24	21	8	1	0	26	23	5	0	0	13	22	19	0	0	17	30	7	0	0
	平均点		<b>4.30</b>					<b>4.24</b>					<b>4.26</b>					<b>4.39</b>					<b>3.89</b>					<b>4.19</b>				
C	普及啓発・人材育成	47	19	13	15	0	0	13	19	15	0	0	14	19	13	1	0	16	15	16	0	0	12	16	19	0	0	15	18	14	0	0
	平均点		<b>4.09</b>					<b>3.96</b>					<b>3.98</b>					<b>4.00</b>					<b>3.85</b>					<b>4.02</b>				
D	情報収集提供・広報・交流等	91	21	44	25	1	0	17	54	18	2	0	26	40	25	0	0	24	41	24	2	0	17	46	27	1	0	19	55	15	2	0
	平均点		<b>3.93</b>					<b>3.95</b>					<b>4.01</b>					<b>3.96</b>					<b>3.87</b>					<b>4.00</b>				
E	機器設備	75	15	32	28	0	0	19	39	17	0	0	10	37	28	0	0	17	42	16	0	0	12	25	37	1	0	13	44	18	0	0
	平均点		<b>3.83</b>					<b>4.03</b>					<b>3.76</b>					<b>4.01</b>					<b>3.64</b>					<b>3.93</b>				
F	その他	9	2	4	3	0	0	1	5	3	0	0	2	4	3	0	0	2	4	3	0	0	0	4	5	0	0	2	3	4	0	0
	平均点		<b>3.89</b>					<b>3.78</b>					<b>3.89</b>					<b>3.89</b>					<b>3.44</b>					<b>3.78</b>				
合計		431	112	193	124	2	0	95	234	99	3	0	113	186	128	4	0	124	197	108	2	0	79	181	168	2	1	87	243	98	3	0
平均点			<b>3.96</b>					<b>3.98</b>					<b>3.95</b>					<b>4.03</b>					<b>3.78</b>					<b>3.96</b>				